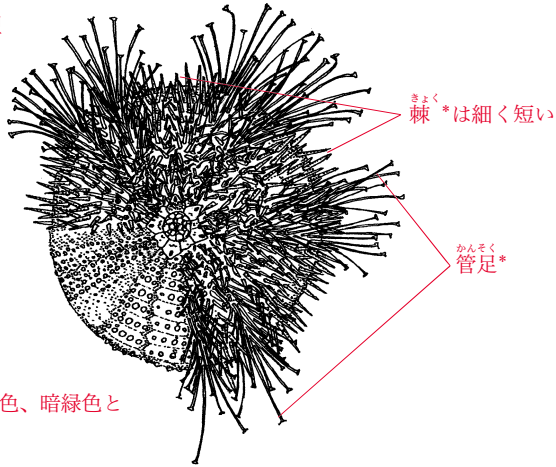


殻はまんじゅう型



体色は灰褐色、黄褐色、暗緑色と
変化に富む

97. エゾバファンウニ *Strongylocentrotus intermedius* (A. Agassiz) 図版41

英名 short-spined sea urchin

露名 серый ёж, морской ёж

地方名(北海道) バファンウニ、ガゼ、ガンゼ、アカ

漢字 蝦夷馬糞海胆

アイヌ語名 ヤイニノー、ニノー

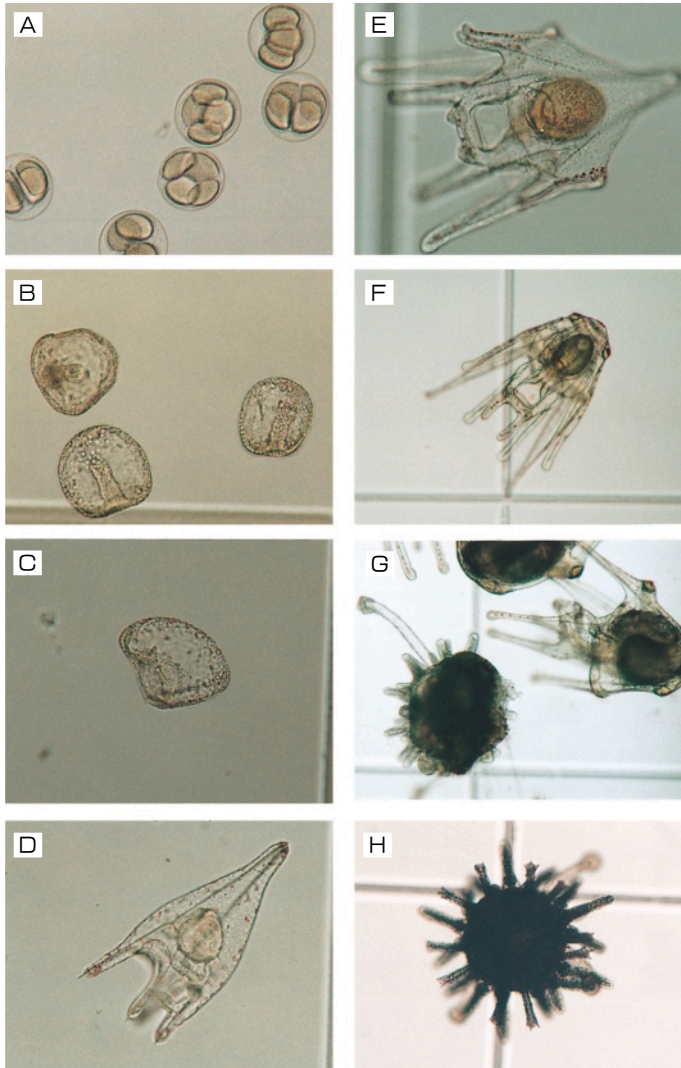
【形態】 殻はまんじゅう形で棘*は5～7 mmと短い。殻の表面にある管足孔*は、5対で弧状に並ぶ。最も長い棘がのる主疣*と次に長い棘がのる副疣*はほぼ同じ大きさである。殻高*は殻径*の半分よりやや大きい。殻の色は個体により異なるが、灰褐色、黄褐色、暗緑色のものが多い。殻径はまれに10 cmに達する。通常、口を下にして海底の岩などに付着している。

【生態】 太平洋側は福島県以北、日本海側では山形県以北から、北海道沿岸、朝鮮半島、中国東北部を経てサハリン、千島列島の択捉島まで分布する。このうち日本国内でエゾバファンウニを漁獲しているのは、岩手県、青森県および北海道である。また、近年は北朝鮮、中国東北部やサハリンからも輸入されている。潮間帯*から水深50mまでの岩礁域などに分布する。

産卵期は、津軽海峡西部から北海道北部日本海では9～10月、オホーツク海では8～9月、根室海峡から日高地方以東の太平洋では6～10月、噴火湾

から津軽海峡東部では4～6月と9～10月の2回とされ、海域によって大きく異なる。

雌雄異体*で、産卵期になると殻の内側に5つある生殖巣から卵または精子



エゾバフンウニの発生

A：受精卵 B：のう胚期幼生 C：プリズム幼生
D：4腕期エキノプルテウス幼生 E：6腕期幼生 F：8腕期幼生
G：変態途中の幼生 H：着底した稚ウニ

mm程度のヨコエビ類*などが知られている。また、潮間帯ではカモメやカラスに食べられることもある。